

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース

No.183
2012年11月発行

公益財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>



巻頭言

9月入学のためにも 教学改革を

大学セミナーハウス 理事
鈴木 典比古

最近、日本の大学改革を巡る論議のひとつに「9月入学」がある。9月入学制は、主として海外からの留学生を増やすための制度変更として論じられているが、忘れてならないのは米国を始め9月入学制をとっている諸外国へ留学した日本人学生—近年この数が減少してはいるが—もこの9月入学制度の下で留学生生活を経験して帰ってくる、ということである。この学生達はどのような留学経験をして帰ってくるのか。9月入学制のもとでは、卒業の時期は大体6月上旬から中旬になる。したがって、日本から海外に留学していた学生達が日本に帰国するのは7～8月が多い。私は長年、海外の大学や大学院に留学する日本人学生や企業派遣留学生のためにアドバイスをし、推薦状を書いてきた。私が書いた推薦状の数は正確には覚えていないのだが、その数は平均すると毎年20通程、したがってその総数は私の大学教員の期間を通じて500通余にもなるであろう。例年、7～8月の時期に、留学を終えたこれらの学生達が帰国の報告電話や挨拶状をよこしたり、面会に来る。彼らが異口同音に言うのは、留学生活が如何に大変であったかということと、同時に、楽しく収穫が多かった、ということ、そして留学が貴重な体験であり、留学して本当によかった、ということである。留学中の勉学の大変さに関しては、授業の予習のために毎日4～5時間を費やしたことや、グループ作業のために苦手なディスカッションに必死でついで行ったこと、500頁にも及ぶ教科書を読破した事、寮生活では同室学生との共同生活に慣れるのに大変であった事、等々を報告してくれる。ただ、彼らがそれに続けて言う言葉で私が長年気にかかっているのは、ほとんど共通して、「日本で学生生活を送っている時にはあんなに

勉強したことはなかった。日本にいる間にもっと勉強しておけばよかった。」というものである。この感想は、図らずも日本の大学と留学先大学の教育の在り方の差を実証しているのではないか。すなわち、誤解を恐れずに言うならば、「留学先の大学の方が日本の大学よりももっと勉強をさせる環境にある事、したがって、留学先の学生の方が日本人学生よりももっと勉強している」ということを意味するのではないか。彼らこそ日本と留学先の大学の教育や勉学の差について自ら体験した証言者なのだ。さて、それでは勉学に費やす時間の彼我の差の存在を認めざるを得ないとするならば、例えば9月入学によって外国からの留学生を増やそう、という最近の日本における論議はどのような意味と帰結を持っているのであろうか。状況を180度変えて、日本に留学してくる外国からの学生達は、日本から帰国後にどのような留学体験を述べるのであろうか。あり得るのは以下のような感想であろう。すなわち、「日本の大学は自国の大学よりも勉強をさせる環境になく、日本に留学するのは意味がない。」もし、このような状況が事実であるとするならば、日本の大学が9月入学に移行しても、留学生が増えるのであろうか。答えは多分Noであろう。9月入学への移行を論じるにしても、そのための焦眉の課題は実はその質向上にあるのである。

●鈴木 典比古 (すずき のりひこ) プロフィール

公益財団法人大学基準協会専務理事

研究分野：国際経営論（経営学博士）

略歴：1972年 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了

1978年 インディアナ大学経営大学院博士課程修了

1978年 ワシントン州立大学助教授・準教授

1982年 イリノイ大学助教授等歴任の後

1986年～国際基督教大学準教授、

1990年～国際基督教大学教授

2000年 国際基督教大学学務副学長を経て

2004年～国際基督教大学学長（～2012年）

2012年4月より公益財団法人大学基準協会専務理事

その他役職：中央教育審議会大学分科会大学教育部会委員

大学設置・学校法人審議会大学設置分科会委員

国立大学法人評価委員会委員

公益財団法人第6回理事会

実施日：平成24年5月19日(土)
場 所：大学セミナーハウス 長期館セミナー室B

出席理事	7名	欠席理事	2名	合計	9名
出席監事	1名	欠席監事	1名	合計	2名

佐藤議長から、次のような開会挨拶等がなされました。
 公益法人2年目の理事会になる。今回の理事会は、決算理事会である。また、昨年度スタートするはずだった「開館50周年記念事業」は、大震災の影響で1年遅れて本年度スタートとなる。従って、今回の理事会に、「開館50周年記念事業計画」を提案する。
 続いて、佐藤議長のもと、議案審議を行い各議案とも承認可決されました。

◎協議事項及び主な内容

・第1号議案「平成23年度事業報告(案)」及び第2号議案「平成23年度決算報告(案)」について

佐藤議長から、事業報告案と決算報告案とは関連するので一括で説明、採決は議案ごとに行う旨の説明がなされ議事に入りました。
 まず、荻上館長から、第1号議案「平成23年度事業報告案」に基づき次の各項目についての説明がなされました。

- 1) 法人の概況
- 2) 事業全体について
- 3) 法人に関する事項
- 4) 宿泊研修支援事業等に関する事項
- 5) 主催セミナー事業等に関する事項
- 6) 出版広報活動に関する事項
- 7) 留学生支援事業に関する事項
- 8) 食堂事業等に関する事項
- 9) 固定資産取得支出に関する事項
- 10) 会計監査及び指導に関する事項

特に、東日本大震災後の厳しい環境の中で、さまざまな利用促進対策に取り組み、利用者数が目標のほぼ100%であった旨の報告もなされました。

次に、程島専務理事から第2号議案「平成23年度決算報告案」に基づき次の各項目を中心に説明がなされました。

- 1) 決算書の様式について
- 2) 貸借対照表(平成24年3月31日現在)について
- 3) 正味財産増減計算書(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)
- 4) 財産目録(平成24年3月31日現在)

特に、利用者数の減少対策や自然災害対策費用の増大等厳しい年度であったが、徹底的な経費節減を行った旨の報告もなされました。

続いて、郷監事より、適法また正確に処理されている旨の監査報告がなされました。

質疑終了後、佐藤議長が「第1号議案」について語ったところ、出席理事7名全員が賛成し第1号議案は承認可決されました。

同様に、「第2号議案」について語ったところ、出席理事7名全員が賛成し第2号議案は承認可決されました。

・第3号議案「開館50周年記念事業への取り組み(案)」について
 荻上館長から、第3号議案「開館50周年記念事業への取り組み案」に基づき次の各項目についての説明がなされました。

- 1) 総論
- 2) 新たなセミナーハウスの構築
- 3) 記念事業の内容
- 4) 資金計画
- 5) 記念事業の当面の着地点

また、本日行われた平成24年度第1回常務理事会での本取り組み案への意見について、次のような報告もなされました。

- 1) 計画案への取り組みは、自己資金の積み増しが最重要であり利用者増のための取り組みに注力。
- 2) 寄附活動を実効有らしめるためによい体制作りを。
- 3) 補助金制度の調査検討を。
- 4) 冠資金調達の情報収集を。

佐藤議長から第3号議案についての質疑を求めた。質疑終了後、佐藤議長が「第3号議案」について語ったところ、出席理事7名全員が賛成し第3号議案は承認可決されました。

◎報告事項

専務理事からの指示に基づいて、事務局から平成24年度職務執行状況について以下の報告がなされました。

- ・平成24年度上期職務執行状況
 - 1) 平成24年度利用状況
 - 2) 平成24年度主催セミナー実施状況
 - 3) 平成24年度施設整備の状況
 - 4) 運営幹事の編成表
 - 5) アートビレッジについて

以上

公益財団法人平成24年度第1回常務理事会

実施日：平成24年5月19日(土)
場 所：大学セミナーハウス 長期館セミナー室B

出席者：佐藤理事長、荻上館長、程島専務理事、鈴木常務理事、郷監事

議事内容：開館50周年記念事業への取り組み案について、取組計画作成の経緯、取組計画の内容及び資金計画などについて討議いたしました。

以上

公益財団法人第2回評議員会

実施日：平成24年5月19日(土)
場 所：大学セミナーハウス 長期館セミナー室B

出席評議員	10名	欠席評議員	4名
出席監事	1名	欠席監事	1名
職務執行役員	3名	同席理事	4名

冒頭、佐野博敏議長の指名により佐藤東洋士理事長から次のような挨拶がなされました。

公益法人として2回目の評議員会になるが、開催日については定款第17条に基づき、さる3月17日に開催した第5回理事会において本日開催が決定し、定款第18条に基づき開催日の5日前までに開催通知をお送りした。

今回の評議員会は、定款第16条に定める定時評議員会である。

評議員について、15名枠に対して現在14名なので、1名増員の選任案を提案する。

また、昨年度スタートするはずだった「開館50周年記念事業」は、大震災の影響で1年遅れて、本年度スタートとなる。従って、今回の評議員会に「開館50周年記念事業計画」を提案する。

続いて、佐野議長のもと、議案審議を行い各議案とも承認可決されました。

◎協議事項及び主な内容

・第1号議案 評議員1名の選任について

佐藤議長から次のような提案説明がなされました。

- 1) 定款第10条で、「この法人に、評議員9名以上15名以内をおく」となっているが、現在14名なので、あと1名を選出する事が出来る。
- 2) 選任方法は、定款第11条により「評議員会において行う」となっている。
- 3) 従って、1名の選任を、議長推薦の形で評議員会にお諮り致したく、提案する次第である。
- 4) よろしければ、「明治大学 福宮賢一学長」を推薦いたします。

なお、任期は、佐藤保先生の補充と云うこともあり、平成24年6月1日から平成27年5月末日となります。

ついで、佐野議長が提案について語ったところ、出席評議員10名全員が賛成し第1号議案は可決されました。なお、被選任者はこれを承諾致しました。

・第2号議案「平成23年度事業報告(案)」及び第3号議案「平成23年度決算報告(案)」について

佐野議長から、事業報告案と決算報告案と関連するので一括で説明、採決は議案ごとに行う旨の説明がなされ議事に入りました。

なお、平成23年度事業報告案及び平成23年度決算報告案は、本日開催された第6回理事会において承認を得たうえで本評議員会に上程されている旨の報告もなされました。

まず、荻上館長から、第2号議案「平成23年度事業報告案」に基づき説明がなされました。

説明内容はP2理事会第1号議案各項目に同じです。

次に、程島専務理事から第3号議案「平成23年度決算報告案」に基づき説明がなされました。

説明内容はP2理事会第2号議案各項目に同じです。

続いて、郷監事より、適法また正確に処理されている旨の監査報告がなされ、第2号議案及び第3号議案についての質疑に移り、次のような発言がありました。

- 1) 利用促進対策の内容について評価する
- 2) 決算数値についても、災害対応で厳しかったようだが評価したい
- 3) 一部未収金について回収努力のこと

質疑終了後、佐野議長が「第2号議案」について諮ったところ、出席評議員10名全員が賛成し第2号議案は承認可決されました。

同様に、「第3号議案」について諮ったところ、出席評議員10名全員が賛成し第3号議案は承認可決されました。

- ・第4号議案「開館50周年記念事業への取り組み(案)」について
荻上館長から、第4号議案「開館50周年記念事業への取り組

み案」に基づき説明がなされました。

説明内容はP2理事会第3号議案各項目に同じです。

続いて、佐野議長が意見を求めたところ次のような意見がだされました。

- 1) 新本館構想は良いが、現在の本館の活用を検討するように。
- 2) アートビレッジ構想に取り組んでいる経緯について。
- 3) 多目的建物の設計建設はよく検討するように。
- 4) 寄附について、組織力を発揮すること。
- 5) 新しい「法人紹介パンフレット」の出来具合はすばらしい。
- 6) 利用者40,000人計画、寄付金目標額、魅力的施設整備はどれをとっても大変な事業なので協力を惜しまない。

以上の審議のあと、佐野議長が、「第4号議案」について諮ったところ、出席評議員10名全員が賛成し第4号議案は承認可決されました。

◎報告事項

専務理事からの指示に基づいて、事務局から平成24年度職務執行状況について報告がなされました。

内容はP2理事会報告事項に同じです。

以上

貸借対照表
(平成24年3月31日現在)

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	2,006,013	1,415,682	590,331
預金	29,804,180	16,034,719	13,769,461
未収金	5,578,180	2,911,900	2,666,280
仮払金	121,260	106,380	14,880
棚卸資産	0	0	0
流動資産合計	37,509,633	20,468,681	17,040,952
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	332,024,279	332,024,279	0
基本金特定預金	4,234,547	4,234,547	0
基本財産合計	336,258,826	336,258,826	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	9,000,000	9,000,000	0
減価償却引当資産	18,000,000	18,000,000	0
特定資産合計	27,000,000	27,000,000	0
(3) その他固定資産			
建物	570,804,097	583,580,682	△ 12,776,585
建物附属設備	147,886,535	156,134,675	△ 8,248,140
構築物	57,009,336	60,401,895	△ 3,392,559
車両運搬具	339,469	452,625	△ 113,156
什器備品	16,740,597	24,943,295	△ 8,202,698
建設仮勘定	0	0	0
図書	0	2,944,592	△ 2,944,592
樹木	0	2,367,680	△ 2,367,680
電話加入権	723,701	723,701	0
有価証券	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	793,513,735	831,559,145	△ 38,045,410
固定資産合計	1,156,772,561	1,194,817,971	△ 38,045,410
資産合計	1,194,282,194	1,215,286,652	△ 21,004,458
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	13,990,422	8,818,446	5,171,976
預り金	11,248,329	5,398,536	5,849,793
流動負債合計	25,238,751	14,216,982	11,021,769
2 固定負債			
長期借入金	259,890,821	284,927,032	△ 25,036,211
退職給付引当金	14,656,000	16,456,000	△ 1,800,000
その他の固定負債	0	6,340,320	△ 6,340,320
固定負債合計	274,546,821	307,723,352	△ 33,176,531
負債合計	299,785,572	321,940,334	△ 22,154,762
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産	894,496,622	893,346,318	1,150,304
(うち基本財産への充当額)	(336,258,826)	(336,258,826)	0
(うち特定資産への充当額)	(18,000,000)	(18,000,000)	0
正味財産合計	894,496,622	893,346,318	1,150,304
負債及び正味財産合計	1,194,282,194	1,215,286,652	△ 21,004,458

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで 単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,954	23,185	△ 16,231
事業収益	167,041,644	165,555,097	1,486,547
学生宿泊事業収益	103,712,070	105,987,860	△ 2,275,790
セミナー事業収益	10,471,440	4,972,700	5,498,740
留学生支援事業収益	12,435,000	11,288,000	1,147,000
社会人宿泊事業収益	30,973,740	37,491,751	△ 6,518,011
土地等貸付事業収益	9,449,394	5,814,786	3,634,608
受取補助金等収益	200,000	150,000	50,000
受取補助金等	200,000	150,000	50,000
受取会費・寄附金収益	53,359,000	51,497,000	1,862,000
会員会費	51,700,000	50,480,000	1,220,000
千人会費収益	949,000	967,000	△ 18,000
その他の寄附金収益	710,000	50,000	660,000
雑収益	2,145,597	1,487,940	657,657
経常収益計	222,758,656	218,713,222	4,045,434
(2) 経常費用			
事業費	206,248,550	204,039,927	2,208,623
管理費	9,069,510	18,561,746	△ 9,492,236
経常費用計	215,318,060	222,601,673	△ 7,283,613
評価損益等調整前			
当期経常増減額	7,440,596	△ 3,888,451	11,329,047
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券			
評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,440,596	△ 3,888,451	11,329,047
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	6,290,292	0	6,290,292
当期経常外増減額	△ 6,290,292	0	△ 6,290,292
他会計振替額	0	0	0
租税公課			
(法人税、都民税均等割)	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,150,304	△ 3,888,451	5,038,755
一般正味財産期首残高	893,346,318	897,234,769	△ 3,888,451
一般正味財産期末残高	894,496,622	893,346,318	1,150,304
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	894,496,622	893,346,318	1,150,304

会費をありがとうございました

2012年4月～9月

(敬称略)

柴田泰比古、手塚喬介、小泉孝一郎、柳堀素雅子、高松正昭、藤井弥太郎、竹村五夫、松澤通生、檜田信男、松田安弘、林 肇、海老根 宏、太田正孝、滝口俊子、金子六郎、井手久登、加藤晴久、中嶋嶺雄、椿 弘次、上野芳康、澤島侑子、荒井 献、西澤宗英、瀬戸岡 紘、奥山典生、朝野洋一、宮川 彰、安宅光雄、犬塚 博、本江哲郎、柴田勇造、古畑和孝、田中 裕、小倉充夫、林 卓男、中山勝博、松平文朗、吉田幸弘、黒田道雄、中村幸安、入江和生、高橋公雄、慶谷伸代、松尾秀雄、松島 恵、兵頭圭介、小池 滋、田島恵児、米村貞蔵、橋本 智、中山光雄、仙田 哲、伊藤伊智郎、太幡祐己、柴田 誠、村瀬 旻、古本捷治、柏木恵子、川原啓美、藤原鎮男、有末 賢、山本 茂、小川彩子、山内芳文、色川大吉、小和田 恆、栗原 裕、新井勝紘、山田耕司、鳥海保子、小川信子、荻原洋太郎、村田光二、鈴木一道、稲田 拓、國岡昭夫、八幡義博、荒川由美子、宮野三郎、岡村文子、村上陽一郎、朽津耕三、田中弥寿雄、藤田淑子、大瀧祐子、並河一道、野崎昭弘、滝口 亨、秋間 実、鈴木俊和、関本昌秀、志賀 英、小堀桂一郎

会員からのメッセージ

◆益々のご発展をお祈りしております。
松田安弘

◆全国の皆さんに、震災で御見舞や御気遣いを頂き、有難うございました。原発事故は、東電はもちろん学者、政治家、地元の人達など多くの大人の責任と考えます。(特にこれから生きる子供達に対して)。一步一步乗り越えて生きることになります。太田正孝

◆カードを頂き、有難うございました。ご発展をお祈りします。椿 弘次

◆誕生日カードをありがとうございました。83歳になりました。セミナーハウスの理念に賛同して今年もわずかですが、お送りします。澤島侑子

◆昨年秋、役員を退任して、3年ぶりに一介の教員に戻りました。

西澤宗英

◆セミナーハウスのご発展をお祈り申し上げます。今年度末に勤務先の定年退職を迎えます。元気でやっております。宮川 彰

◆地域の人々と学生との交流がより盛んになり地域に愛される施設になると良いですね。本江哲郎

◆誕生日を御祝いくださり、有難うございます。お陰様で私も病いを超えて81歳を迎えることが出来ました。貴セミナーハウスの益々のご発展をお祈り申し上げます。古畑和孝

◆“祝八王子セミナーハウス新パンフレット発刊” 本日、「大学セミナーハウス」の新しいパンフレットを受け取り、とっても良く出来ていると思いました。1961年設立以来の活動ぶり、とくにその初期の時代にFaculty Developmentの研究会(FD委員会)を発足させ、いかにすれば良い授業を実施できるか、夜を徹して語りあった日々のこと

がなつかしく想い出されます。祝杯を！ 福田一郎

◆パスディカードを有難うございました。86歳の誕生日をむかえ、脚もめつきりおとろへ、ハウスへ登るのもおっくうになりました。吉田幸弘

◆私はこの7月に80歳になりました。いまだ現役で英語教育界に貢献しております。私が長く仕事をしてきた大学英語教育学会(JACET)は今年創立50年になります。1967年から1991年まで25回のJACETサマーセミナーを真夏に1カ月から10日間程度English Village形式で英語だけを使い、英米から著名な言語教育学者を招聘し、参加者の討論をおこなってきました。そのなかで大学の外国語教育の改革についても熱心に討議をおこない、アピールなども出しました。セミナーハウスが開館して間もない頃で、2人ひとつのコテージに住み、夜を徹しての議論は互を深めたものです。当時は主の飯田先生がおられて面倒を見て下さいました。家族主義的な温かさがありました。「夏がくると思い出す～」の歌詞がありますが、その次に「セミナーハウスの中央館」と毎年替え歌をつくってエンジョイしたのでした。

このセミナーは今も続いて草津で開催され、今年で39回になります。セミナーハウスの事務職員、大学教員問題懇談会の仲間たち、いまは世代が代わっていますが、セミナーハウスの創立の精神は生き続けてもらいたいと心から念願するものです。小池生夫

◆ご発展をお祈りしております。

慶谷 伸代

◆すてきな誕生日カードをありがとうございました。おかげさまで、喜寿を迎

えることができました。松島 恵

◆益々の発展を祈念しております。

栗原 裕

◆このところ、セミ生や院生と、戦場の兵士と銃後を結んだ軍事郵便を読み、兵士の視点から戦争を考えています。新井勝紘

◆若い世代の交流を願ってますますの御発展と御活躍をお祈りします。

小川信子

◆今年も元気で誕生日を迎えられることを感謝しております。荻原洋太郎

◆大学セミナーハウスがこれからも益々御発展されることを、心から祈っております。宮野三郎

◆何とかまだ現役で勤めております。

村上陽一郎

◆またまた“遅刻”しまして、申し訳ありません。大学セミナーハウスのいっそうの充実・発展を祈念します。

秋間 実

◆大学セミナーハウスのご発展を心よりご祈念申し上げます。健康に感謝し、日々過ごしています。鈴木俊和

◆年なりに何とかやっています。車に沢山の資料を積んで原稿書きをした昔を思い出しています。貴ハウスの益々のご発展を祈っています。

志賀 英



大学セミナーハウス開館50周年ロゴ

ご利用ありがとうございました (平成24年4月～9月)

* = 同月2回利用
** = 同月3回以上利用
日帰り利用はグループ数のみ
(延べ人数には日帰り利用は含まず)

敬称略

■4月(63グループ 延3,155人)

青山学院女子短期大学 輪島ゼミ
明治大学商学部 藤井ゼミ
青山学院大学 塩澤ゼミ
首都大学東京教育学研究室
首都大学東京桜都寮
青山学院大学理工学部物理・数理学科
青山学院大学 土山ゼミ
日本大学 大井ゼミ
青山学院大学 岩田ゼミ
桜美林大学総合文化学群映画コース
首都大学東京都市教養学部歴史考古学
武蔵大学 松本ゼミ
桜美林大学 牧田ゼミ
中央大学心理学研究室
明治大学 本所ゼミ
東京工芸大学建築学科
首都大学東京物理学コース
恵泉女学園大学英語コミュニケーション学科
東京学芸大学生涯学習専攻
早稲田大学教育学部河村研究室
東洋大学社会文化システム学科
東京農工大学環境資源科学科
首都大学東京機械工学コース
中央大学教育学研究室
大妻女子大学 岡ゼミ
白梅学園短期大学
中央大学白門会
内定アカデミア
筑波大学附属小学校自主研究会
学習院大学シェイクスピアドラマソサエティ
日本大学 辻ゼミ
明星大学経営学部A
明星大学経営学部B
留学生
個人利用
東京都立南平高等学校
東北生活文化大学高等学校
東京聖栄大学
多摩美術大学プロダクト研究室
実践女子大学生活文化学科
駒沢女子大学基礎ゼミ
(株)ギブリー
(株)九州屋
(株)スリーポンド
第一屋製パン(株)
(株)オーネックス
アドバンスアプリケーション(株)
(株)住機
東洋ビジネスエンジニアリング(株)
(株)こうゆう
文化交流会
大成建設(株)
(有)デボル
(株)ギブリー<インターネットメディア事業部>
日本電気通信システム(株)
神楽坂懇話懇親会
東京ロジカルアカデミー
エナジーソフト(株)
地学団体研究会
ぶどうの樹キリスト教会
(日帰り利用)
アイセック中央大学委員会
(株)東邦建設工業

東京教会学校中高等部

■5月(50グループ 延2,496人)

明星大学経営学部C
明星大学経営学部D
法政大学 漆原ゼミ
中央大学ポピュラーソング研究会
日本ショーペンハウアー協会
首都大学東京バドミントン同好会
慶應義塾大学弁論部藤沢会
日本大学 三井ゼミ
アイセック早稲田大学委員会
首都大学東京システムデザイン学部
創価高校男子
アイセックジャパン
帝京大学教職大学院
東京都市大学大橋研究室
公益財団法人日中技能者交流センター
東京経済大学 陣内ゼミ
電気通信大学上野研究会
帝京大学スタディアブロード
東京学芸大学表現コミュニケーション専攻
東京都市大学教職課程
帝京大学 喜多ゼミ
首都大学東京システムデザイン学部ヒューマンコース
首都大学東京テコンドー部
中央大学商法研究会
早稲田大学マグネットプレス
法政大学 河野ゼミ
ソフィアラケットボールクラブ
一橋大学経済学部 竹内ゼミ
宮城広瀬高等学校吹奏楽部
第8回ESR入門セミナー
武蔵野美術大学 菊池ゼミ
(株)スリーポンド
エナジーソフト(株)
聖学院大学卒業リトリート
カルバリーチャペル
JFE商事(株)
(有)デボル
フェニックスグリークラブ
大成建設(株)
大東建物管理(株)
ツリーマスタークライミングアカデミー
(株)こうゆう
サイバーシルクロード八王子
(株)ケイ・ピー・エム
天空堂
保健師サミット実行委員会
キューピー(株)
日本分光(株)
個人利用
(日帰り利用)
幼体連スポーツクラブ

■6月(43グループ、延2,090人)

早稲田大学小松原研究室
東京女子大学言語学専攻
法政大学陣内研究室
関西創価高等学校
東京大学医学部国際保健学専攻
環境心理合同ゼミ
地域づくりインターンの会
慶應大学中国文学専攻
帝京大学こでまり
芝浦工業大学鉄道研究会
Field.Assistant.Network
創価高校
日本大学生産工学部
日豪合同セミナー
日本大学 川野ゼミ
東京外国語大学投野研究室
アイセック明治大学委員会
法政大学 小椋ゼミ

日本女子大学附属高等学校
三大学合同セミナー
第1回PDセミナー
東京都市大学 兼子ゼミ
東京工業大学大学院木嶋研究室
大学人コミュニケーション養成セミナー
13回「世界とアメリカ」セミナー
早稲田大学 河西ゼミ
筑波大学・首都大学東京合同合宿
青山学院大学 井川ゼミ
個人利用
留学生
多摩大学事務局
前橋工科大学総合デザイン工学科
放送大学 仙田ゼミ
神田外語大学通訳翻訳課程
(株)スリーポンド
救世軍社会事業団
(株)シモダ
カリック求道共同体東京
シンフォニア・ズブロッカ
(株)TMJ
IPS研究会
(日帰り利用)
沖友会西多摩部会総会
(株)ジャンゴフィルム

■7月(53グループ、延2,285人)

法政大学 小林ゼミ
十大学合同セミナー
筑波大学空間情報科学分野
第26回大学職員セミナー
早稲田大学・明星大学合同合宿
東京学芸大学学校教育選修
首都大学東京国際センター
立教大学コミュニティ福祉学部
筑波大学人工知能研究室
東京外国語大学 丹羽ゼミ
東京大学 島蘭ゼミ
アイセックジャパン
東京理科大学 大澤ゼミ
京英会
東京工業大学
早稲田大学 佐藤ゼミ
慶應義塾大学文学部 山内ゼミ
早稲田大学 田口ゼミ
早稲田大学学^o科学研究所
東京大学西原研究室
アイセック筑波大学委員会
日本赤十字社神奈川県支部
横浜市立大学合唱サークル
竹の子サッカークラブ
東京教会付属教会学校中高等部
日本芸術高等学園(株)ナハワイアンズ
日本芸術高等学園
拜島二小FC
八王子リトルリーグ野球協会
愛宕ヤンキース
東京都立富士森高等学校女子バレー部
東京都立板橋高等学校
文学教育研究者集団
ソルプラスFC
環境省S9プロジェクト
あしなが育英会
エナジーソフト(株)
VUJO
エナジーソフト(株)
(株)大同ポリマー
ツリーマスタークライミングアカデミー
ワークショップリコ
(株)こうゆう
(株)キーバインド
アンディームジーク室内合奏団
天空堂

(株)スリーポンド
個人利用
留学生

日帰り利用

幼体連スポーツクラブ **
帝京大学外国語学部 郷ゼミ
アクア スーシャルフェス2012
東京学芸大学環境科学分野

■8月(127グループ、延5,104人)

アイセック筑波大学委員会
アイセック上智大学委員会
立教大学 千石ゼミ
アイセック立教大学委員会
駒澤大学 吉田ゼミ
法政大学キャリアデザイン学部 斎藤ゼミ
東洋英和女学院大学 篠原ゼミ
創価大学経済学部 大坪ゼミ
創価大学 栗山ゼミ
大学人コミュニケーション力養成セミナー
首都大学東京キャリアサークル
教員免許状更新講習
帝京大学
桜美林大学 館ゼミ
創価大学放送部
生徒シンポジウム実行委員会
青山学院大学社会情報学部 寺尾ゼミ
明星大学心理学科 境ゼミ
東京学芸大学 万葉ゼミ
ノンフォーマル教育研究会
生物多様性若者ネットワーク
(株)ギブリー①
明治大学ドルフィンズ
アイセックSFC
立正大学 芹田ゼミ
アートビレッジ「親りで作るドルハウス」
一橋大学 鈴木ゼミ
首都大学東京ESSサークル
青山学院大学ハンドベルクワイア
早稲田大学マジッククラブ
東洋大学大学院
日本大学管弦楽団
myJapan
明治大学 柿崎ゼミ
法政大学八名研究室
東京農工大学生協学生委員会
駒澤大学 李ゼミ
横浜国立大学国際問題研究会
立正大学 村上ゼミ
東京工業高等専門学校
明治大学経理研究所
創価大学 朝賀ゼミ
東京都立大学付属中学校・高等学校
関東大学スポーツ新聞
法政大学中学高等学校演劇部
公益財団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩
東京工科大学吹奏楽団
早稲田大学尾澤研究室
早稲田大学建築展
埼玉大学 山口ゼミ
東京工科大学 毛塚ゼミ
東京学芸大学大学院英語教育 金谷ゼミ
埼玉大学 福岡ゼミ
立正大学
多摩市の明日を考える会
東京女子大学 鈴木ゼミ
国際基督教大学イベント部
大妻女子大学人間関係学部
法政大学 河野ゼミ
東京農工大学榎本研究室
早稲田大学劇団コンツェルト
横浜国立大学大学総合センター
桜美林大学 小松ゼミ
明星大学 菊地ゼミ

芝浦工業大学電子計算機研究会
留学生
三市共催初任者研修
自由ヶ丘学園高等学校
千曲ボーイズ
八王子リトルリーグ野球協会
文学教育研究者集団
ヨナの会
日本赤十字社神奈川県支部中学生
旭ヶ丘子供会
文京学院大学
現代と経済
東京医科歯科大学
東京聖栄大学ピアヘルピングワークス
杏林大学外国語学部
AITC
大宮法科大学院大学 早川ゼミ
めじろ台ホークス
ホワイトウィングスミニバスケットボールスポーツ少年団
サマーキャンプイン八王子
城北ルミナリーズ
白田ミニバスケットクラブ
ドリウムメジャー学習塾
学習サークルたんぽぽ会
日本赤十字社神奈川県支部高校生
駒沢女子大学
町田シニア
(株)フッター
暨南大学
日本第二言語習得学会
サイエンスキャンプ2012
多摩大学 松本EXゼミ
明神フェニックス
西八王子少年サッカークラブ
青梅市教育委員会
文京学院大学
元八王子中学校サッカー部
町田桐葉学院桜台教室
夏の学校量子材料科学セミナー
進学塾ウイル
サイエンスキャンプ2012
横浜物理サークル
数論セミナー
渋谷教育学園渋谷中学校高等学校理科部
東京神学大学夜間神学講座
日本教育大学院大学 林ゼミ
よみかかせ交流広場
横浜商科大学 高橋ゼミ
カウンセリング研究会
天空堂
個人利用
広林太極文化センター
目黒若葉寮
今を生きる人の集い
一般社団法人国際商事法研究所
ムジカ・サクレトウキョウ
ツリマスタークライミングアカデミー
学科製図.com
日帰り利用
進学塾ウイル
立川高校2B会
野猿時自治会
法政大学
創価大学 宮崎ゼミ

■9月(128グループ、延3,578人)

芝浦工業大学電子計算機研究会
東京農工大学細見研究室
青山学院大学 今井ゼミ
ぐるぐるつくる大学セミナーハウス
中央大学英語学会
中央大学マイジャパン
第2回新任教員研修セミナー
青年法律家協会

アイセック明治大学委員会
大妻女子大学 小谷ゼミ
中央大学心理学部専攻 山科ゼミ
首都大学東京河野研究室
上智大学認知心理学研究室
明星大学 亀卦川ゼミ
法政大学 武智ゼミ
留学生
大妻女子大学 佐藤ゼミ
日本大学短期大学部 建築・生活デザイン学科
アイセック青山学院大学委員会
明治大学雄弁部
明治大学 大畑ゼミ
東京女子大学 松尾ゼミ
青山学院大学 リズムマンドリーノ
法政大学 土橋ゼミ
早稲田大学算研究室
帝京大学12
首都大学東京哲学科
東洋大学はばたき
日本大学実習体育会委員会
お茶の水女子大学理学部情報科学科
法政大学 武田ゼミ
電気通信大学寺田研究室
東洋大学福祉系サークルはばたき
日本大学 三澤ゼミ
法政大学 平岡ゼミ
法政大学 佐藤ゼミ
慶應義塾大学理工学部高橋研究室
日本大学法学部 別府ゼミ
日本大学VRC猫パト
中央大学労働法ゼミ
明治大学理工学部科学技術英語
第53回大学教員セミナー
駒澤大学 村井ゼミ
帝京大学こでまり
駒澤大学文学部社会学科 坪井ゼミ
河野研究会
青山学院大学 白井ゼミ
創価大学ロシア語専修
法政大学 木村ゼミ
法政大学 森ゼミ
情報可視化研究室合同合宿
立正大学 板橋ゼミ
青山学院大学石津研究室
東北芸術工科大学
東京都市大学兼子研究室
法政大学陣内研究室
上智大学応用言語学ゼミ
帝京大学 樫原ゼミ
東京経済大学 釜江ゼミ
恵泉女学園大学 林ゼミ
中央大学 縄田ゼミ
東洋大学 白川部ゼミ
(株)スリーポンド
立教大学 富安ゼミ
東京農工大学藤田研究室
成蹊大学文学部 権田ゼミ
東洋大学 川瀬ゼミ
東京学芸大学学校教育選修1年
アイセック慶應大学委員会
立教大学 片上ゼミ
東京女子大学 中村ゼミ
日本女子大学 渡辺ゼミ
エデュベディア
上智大学古代史ゼミ
埼玉大学 江口ゼミ
一橋大学 倉田ゼミ
東京農工大学仁藤研究室
東京外国語大学ロシア語専攻
東京外国語大学 丹羽ゼミ
日本大学 福島ゼミ
お茶の水女子大学中文科
早稲田大学 福田ゼミ

EUセミナー
 東京外国語大学タイ語専攻
 成蹊大学文学部 石田ゼミ
 芝浦工業大学森野研究室
 東京外国語大学 林ゼミ
 早稲田大学
 國學院大学
 名城大学
 淑徳大学
 南八王子サッカークラブジュニアユース
 名古屋商科大学
 玉川大学 藤田ゼミ
 一般社団法人公立大学協会
 東京国際大学人間社会学部 萩原IVゼミ
 関西大学 水野ゼミ
 東京農工大学応用熱音響研究会
 個人利用
 インターハート人間教育研究会
 高千穂大学 大島ゼミ
 日本女子体育大学笹本研究室
 明治学院大学稲葉社会倫理ゼミ
 デジタルハリウッド大学
 東京造形大学
 まるちゅうひん
 都留文科大 東ゼミ
 都留文科大 古川ゼミ
 東京芸術大学美術学部 先端芸術表現科
 東京多摩いのちの電話
 多摩男声合唱団
 AYPIC
 一般財団法人タヤマ財団
 ツリーマスタークライミングアカデミー
 ホワイトホースシアター
 (有)デボル
 株式会社オザム流通部
 新日本ギターアンサンブル
 ヨシユア会
 日本キリスト教団相模原教会
 巣鴨ときわ教会
 キリストの教会伝道学院
 日帰り利用
 東京学芸大学
 幼体連スポーツクラブ
 (株)ケイ ファクトリー
 ウルトラ会
 日本大学短期大学部 建築・生活デザイン学科
 蓮太郎教室

ART VILLAGE 「八王子セミナーハウス・アートビレッジ」について

・アートビレッジ構想

当セミナーハウスは、2015年7月5日に開館50周年を迎えます。開館50周年を記念する事業の一環として、現在は使用していない施設「ユニットハウス」をアトリエとして、アーティストの方々にご使用いただき、個性豊かな建築群を活かしつつ、アーティスティックな環境を作りたいと考えております。

・八王子セミナーハウス・アートビレッジ開村式

8月12日に八王子セミナーハウス・アートビレッジの開村式が行われました。美術関係者の方、メディアの方、近隣の方々など約60名がセミナーハウスを訪れ、アートビレッジの開村を祝ってくださいました。



当日はさわやかな快晴で、百日紅の花が咲くアトリエの庭に、村民手作りのビレッジフラッグがはためいて、ささやかな祝典を祝っているかの様でした。

開村式では、9名のアーティストが作品をプロジェクター等で発表しました。電子回路を使った木のおもちゃを作っている久世夫妻は、なでると音の出るサイの形のオルゴール（らいのん）の説明をしましたが、来場者に手渡し、一人ひとりがその手触りと音を楽しんでくれました。なかでも子どもさんが楽しそうに何度も音を鳴らしていたのが、ほほえましく印象的でした。

式の後には、アトリエを解放してアートの現場を皆さんに見ていただきました。この日は、村民の藍原ユキさん主催の『親子で作るドールハウス』の教室があり、3組の親子がドールハウス作りやBBQ、虫取りを楽しみました。

また開村に合せ、本館食堂下ロビーをアートビレッジギャラリーとしてオープンしました。今後もご来館の方々に楽しんでいただけるよう、充実したギャラリーにしていく所存です。この秋も村民による企画が目白押しです。どうかこれからもアートビレッジをよろしく願いたします。（アートビレッジ事務局 高橋）

・活動報告（2012年4月～9月）（ ）は企画者

- 8/12 開村式、アートビレッジギャラリーオープン
- 8/12～13 泊まって食べて 親子で作るドールハウス（藍原ユキ）
- 8/24 オリジナル葉っぱの標本箱作り（藤山雪子）
- 9/15 蓮太郎教室（巖谷蓮太郎）
- 9/17～19 東北芸術工科大学「Arduino+タッチセンサで“タッチLED照明”をつくろう」ワークショップ（久世祥三/久世茉莉子）
- 9/23 ウルトラ会（藍原ユキ）

<メディア掲載>

8/9 朝日新聞、8/14 東京新聞、8/16 yahoo!ニュース、8/16 八王子経済新聞、8/26 読売新聞

2012年度後期 開催セミナー

主催セミナー名	日程	テーマ
第1回 大学職員のグローバル化研修	10/ 3(水)～ 5(金)	国際交流推進への理解と知識
デジタルアートセミナー#1	10/13(土)～14(日)	openFrameworksで学ぶ、クリエイティブ・コーディング
第9回 古代史セミナー	11/10(土)～11(日)	日本古代史・新考・自由自在その5
第39回 国際学生セミナー	11/24(土)～25(日)	東アジアを考える
第27回 大学職員セミナー	12/ 7(金)～ 8(土)	大学職員の挑戦と実践 ～職員が変われば大学は変わるⅢ～
第6回 教員免許状更新講習	12/24(月)～27(木)	教育の最新事情、教育内容の充実
留学生論文コンクール2012	募集期間:4/1(日)～10/15(月)	私が考える地球的問題(グローバルイシュー)

☆詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-Mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

2012年度前期 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テーマ	講師	参加者数
第1回 大学教員のためのPDセミナー	6/23(土)～24(日)	学生が授業を受けなくなるシラバス作り	土持 啓一 (帝京大学高等教育開発センター長) 井上 史子 (帝京大学准教授)	42
第26回 大学職員セミナー	7/13(金)～14(土)	大学職員の挑戦と実践 —職員が変われば 大学は変わるII—	高辻 智長 (明治学院大学学生課) 友松 修 (広島経済大学興動館課長) 松坂 浩史 (文部科学省高等教育局視学官・私学経営支援企画室長)	37
第5回 教員免許状更新講習	8/4(土)～7(火)	教育の最新事情 教育内容の充実	安田 忠郎 (教員免許更新センター長) 高垣マユミ (実践女子大学生生活科学部教授) 内藤 昌孝 (神奈川工科大学顧問) 小川 彩子 (州立シンシナティ大学UCBA助教授) 山内 芳文 (聖徳大学児童学部教授) 吉田 真史 (東京都市大学知識工学部教授)	67
第2回 新任教員研修セミナー	9/3(月)～5(水)	—	村山 光子 (明星大学学生サポートセンター長) 井下 理 (慶應義塾大学教授) 荒木 晶子 (桜美林大学文学部教授) 小川 哲生 (明星大学学長)	42
第53回 大学教員セミナー	9/13(木)～14(金)	大学生の学修時間の確保について考える	荻上 紘一 (大妻女子大学学長) 吉田 文 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授) 北原 和夫 (東京理科大学大学院科学教育研究科教授) 山上浩二郎 (朝日新聞専門記者)	29
第1回 EUセミナー	9/28(金)～30(日)	岐路に立つヨーロッパ —EUのガバナンス—	マエヴ・コリンズ (駐日欧州連合公使・副代表) 渡邊 啓賢 (東京外国語大学教授) 小久保康之 (東洋英和女学院大学国際社会学部教授) 田中 素香 (中央大学経済学部教授・日本E U学会理事) 蓮見 雄 (立正大学経済学部教授) 押村 高 (青山学院大学教授) 中西優美子 (専修大学教授) 福田 耕治 (早稲田大学政治経済学部教授)	74

○寄贈図書 (2012年4月～2012年9月)

クアドランテ「四分儀」No.14 QUADRANTE
 東京外国語大学海外事情研究所
 東海大学紀要 第19号 2011 東海大学教育研究所
 一橋大学 大学教育研究開発センター年報 2011年度
 一橋大学 大学教育研究開発センター
 単位実質化マキシマムモデルの実践と普及 平成23年度活動報告書
 一橋大学 大学教育研究開発センター
 日本語・日本学研究 vol.2 (2012)
 東京外国語大学国際日本研究センター
 日本語の多様性を探る～島のことばのフィールドワーク～
 東京外国語大学国際日本研究センター
 仮想儀式(上)(下) 篠田節子

早稲田法学 第87巻第3号 2012 早稲田大学法学会
 中国 文化強国宣言 批判 —胡錦濤政権の落日— 高井潔司
 2011年度 年報
 東京大学大学院教育学研究科付属学校教育高度化センター
 法政大学教育研究 第3号
 法政大学教育開発支援機構FD推進センター
 Educational Development 教育開発 vol.6 (2010)
 東海大学教育開発研究所
 アジアの現代文芸 SRILANKA「スリランカ」③ 時の終焉
 (公財)大同生命国際文化基金
 早稲田法学会誌 第63巻第1号 2012 早稲田大学法学会



Plain living and high thinking

制 編 発 行
 作 集 行 人
 || 八 二 行 人
 ア || 王 公 益 益
 ト || 子 益 益 益
 リ || セ ミ ナ ー ハ ウ ス ・ ニ ュ ー ス
 エ || ナ ー セ ミ ナ ー ハ ウ ス
 い || ー セ ミ ナ ー ハ ウ ス
 の || 留 学 生 グ ル ー プ
 へ

館長室から 「履修主義」から「修得主義」へ

何年か前に「未履修問題」が世間を騒がせたことを記憶していらっしゃる方も多いのではないだろうか。大学受験における進学実績を向上させることを重視した高等学校が、学習指導要領では必履修だが大学受験には関係ない教科や科目を生徒に履修させなかったため、卒業が危ぶまれる生徒が多数いることが判明した問題である。その際問題にされたのは、その科目を「履修」したかどうかであり、「修得」したかどうかではなかった。『広辞苑』によれば、「履修」とは「学科・課程などを習い修めること」であり、「修得」とは「習い覚えて身につけること」とされている。これでは両者の違いがよく分からないが、前者では「教員が何を教えているか」が重要であり、後者では「どれだけ学生の身についたか」、「学生は何が出来る様になったか」が重要である。

これまでの我が国の教育は、「履修主義」であり「修得主義」ではなかった。しかし、昨今は国際的な動向として、学修成果の評価が重要性を増している。つまり、「履修主義」から「修得主義」へ移行しつつあるのである。かつては、先生が立派な講義をして、学生が理解出来なければ「学生が悪い!」とって済ましていたが、昨今は学生が修得出来なければ「先生が悪い!」のである。

館長 荻上 紘一